

# 良い計画：保護

## 始まり:

1. [退役軍人に敬意を表します - 起立してください]
  - a. 愛する人と知らない人の両方を守るために危険を冒して尽くした奉仕に感謝します。奉仕に感謝します。
  - b. 着席してください。
2. 始める前に、選挙について私たち全員に励ましの言葉を述べたいと思います。今週は選挙がありました(気づいていない場合に備えて)
  - a. [励ましの言葉] - アメリカの頭ではなく、世界の真の主である教会の頭に希望と自信を見出しましょう
    - i. そうすることで、キリストにしっかりと根ざした自信を持ち、政治的な違いがあっても互いに愛し合う人々になりましょう。
      1. つまり、私たちはすぐに判断するのではなく、すぐに愛したということですか？
      2. 自分の意見をすぐに述べるのではなく、すぐに聞き、ゆっくり話しました
    - ii. もしあなたがここにおいて、選挙結果に心を痛めているのなら、私たちはあなたと共にあります
    - iii. もしあなたがここにおいて、選挙結果に興奮しているのなら、大統領に希望と信頼を置くのではなく、別の王国、つまり神の王国の国民として良い人生を送りながら、大統領のために誠実に祈るよう勧めたいと思います
    - iv. もしあなたがここにおいて、選挙が終わったことを嬉しく思っていて、忘れられるようにそのことが言及されないことを望んでいたのなら... 申し訳ありません。
  3. もし私がいなければ、私はデビッドです。私はこの牧師の一人です。
4. [シリーズの概要 + 目標]
  - a. 私たちは「良い計画」というシリーズに取り組んでいます
  - b. このシリーズでは、神の約束について詳しく調べています。神の約束とは、神の民のための良い計画です
  - c. 私たちのアンカーテキストはエレミヤ書 29 章です
    - i. そこには、とてもよく知られている一節があります - エレミヤ書 29:11
    1. 私たちはこの一節が大好きです。なぜなら、私たちは自分の良い計画をすべて考え、「神は私のために良い計画を持っておられる！ 繁栄と良い未来のための計画だ！」と言うからです
    2. しかし、この一節は文脈から外されると、過度に個人化され、意味と力を失ってしまいます。
    - ii. ご存知のように、この良い計画の預言は、故郷から追放された人々のためのものです！
    - iii. 彼らは理想とは程遠い状況にあります。
    - iv. しかし、これらすべては、人々を神のもとに呼び戻すためであり(12節参照)、神が彼らを追放から故郷に連れ戻すと言われた時、神を信頼するためです。
  - d. エレミヤ書29章は、時代や状況がまったく異なりますが、私たちが想像力を聖書に浸し、聖書によって形作られるなら、生き方について非常に多くのことを教えてくれます。
  - e. 私たちは、神がまさに今、21世紀のポートランド首都圏で、私たちのために良い計画を持っておられると信じているからです。
  - f. しかし、神の良い計画があなたが期待するものでなかったらどうでしょうか？

- i. 選挙が期待通りにいかなかったのかもしれませんが
- ii. 好ましい政治家が権力を握っていないときでも、神は依然としてその民のために良い計画を持っておられるのでしょうか？
- g. B4Church、あなたの人生で現時点で神が計画を見失ったように感じても、神の計画がはるかに優れているとしたらどうでしょうか？
- h. 今朝は、保護のための良い計画と、善良で愛に満ちた神に私たちの安全と避難所を見出すことについて話しています。

## 憧れ: 安全/保護

1. チャーチ、私は危険を冒すタイプではありません。私はそれほど速く運転できません。
2. [ストーリー] - [義父と運転中に死ぬかと思ったとき - 私はプリウスに乗っています。ボタンを押してドライブ(唯一のギア)に入れ、ガソリンを節約するために制限速度より5マイル遅く走ります)
3. [私たち - 私たちの憧れ] - 安全を感じることは人間の基本的な欲求です
  - a. マズローの欲求階層説(アブラハム・マズローによる有名な心理学理論)では - 生物学的欲求(水、住居、食料)が満たされた後、次に大きな人間の欲求は安全と安心です
  - b. 安全に関して言えば、私たちは皆、世界の危険が私たちに近づくことさえできない日を待ち望んでいます。
4. 私たちは皆、潜在的な危険に対処することで得られる心の平安を待ち望んでいます。a. [退役軍人の方々に敬意を表しましょう。彼らの犠牲によって私たちに平和がもたらされたのです]
5. 安全を望むことは、人間として当然の善良な欲求です。

## 緊張: 保護が保証されなかったり、差し控えられたりしたらどうなるのでしょうか？

1. しかし、もし私たちが切望する保護が保証されなかったらどうなるのでしょうか。安全でリラックスするために必要な安全が与えられなかったらどうなるのでしょうか。
  - a. [例] - 車が壊され、物が盗まれた (重大な違反) b. お金が足りず、支出が収入を超えているため、経済的安全は遠い
2. 安全を感じるために必要なものがない場合は、安全を感じるために必要なものを探すためにできることをします。
  - a. カルトが存在するのは、自分の安全に対する恐怖があるからです。
    - i. カルトは恐れを抱く人々を見つけます。彼らは彼らの恐怖を利用して、大きな悪い世界から身を守る唯一の手段はカルトのコミュニティ、そしてさらに重要なことに、カルトのリーダーであると信じ込ませます。
3. 私たちの安全に対する恐怖と保護に対する本質的な必要性は、人類の歴史の始まりにまで遡ります。
  - a. カインとアベルの物語では、カインは弟を殺害します。それから神は、人々にカインを傷つけないよう警告する印をカインに与えます。これは神の驚くべき恵みです。 b. 神はカインに保護を与えます。しかし...
    - c. カインは恐れを抱き、エデンの東の放浪の地に住み、都市を建設します(ヘブライ語のテキストでは、壁で囲まれた場所を意味していましたが、カインは

恐れのために保護のために壁を建設します)。

- i. パターンがわかりますか？
  - ii. 人間は神の前にあり、平和と保護の場所でした iii. 彼らは神に背き、エデンから追放されます。彼らはエデンの東に行きます iv. カインは弟を殺害し、エデンからさらに遠くに追放されます。テキストによると、彼はエデンの東に向かいました。
  - v. エデン、この喜びに満ちた神の庭園は、神がそこにいるので保護があり、壁は必要ありません。
1. (これは私たちが生まれてきた家です。私たち全員が魂の最も深いレベルで故郷を恋しく思う家、つまり私たちの本当の家です)
  - vi. 人類がエデンから追放されて以来、私たちは危険な世界をさまよひ、危険を寄せ付けず自分たちを守るために壁や柵を築こうとあらゆる手を尽くしてきました。
1. 今日、それは文字通りの壁のように見えるかもしれませんが、私たちの保護としての財政かもしれません。
  4. 危険に満ちた世界では、私たちの魂は保護を切望しています。
- a. たとえひどい生い立ちで家が安全な場所ではなかったとしても、心の奥底では安全がある本当の家を切望しています。
  - b. 私たちはエデン、つまり神の御前に戻りたいと切望しています。そこには保護があり、壁や武器は必要ありません。
  - c. 神の御前には保護があります。

## 遷移

1. 今ここで神の存在と保護の平和を体験するとはどういうことでしょうか？
2. しかし、この世界で恐れを抱かないとはどういうことでしょうか？
3. どうすればそれが可能になるのでしょうか？

## シリーズとストーリーの所在

1. エレミヤ書 29 章の物語の現在位置は次のとおりです。
- a. [イスラエルの物語を要約する]
2. [文章を読む]

a. 「イスラエルの神である天の軍勢の主は、エルサレムからバビロンへ移された捕虜全員に、こう告げます。『家を建て、長期の滞在計画を立てなさい。長年にわたってそこにいることになるから、ぶどう園を造れ。結婚して、子どもをもうけよ。子どもにも相手を見つけてやり、多くの孫が生まれるようにしなさい。人口を減らしてはならない。バビロンの平和と繁栄のために努力し、そのために祈るのだ。バビロンが平和であれば、おまえたちも平和に過ごせるからだ。』」

エレミヤ書 29:4-7 JCB

## 亡命を想像する

1. 自分が亡命中だと想像してください…
- a. 自分が選んだわけではない
- b. 神に見捨てられたように感じる
- c. 神のいない文化であるにもかかわらず、複数の神を崇拝している

- d. 言語、文化、気候が異なる
- 2. もし私だったら、亡命から抜け出して故郷のエルサレムに帰りがるだろう
- 3. さて、エレミヤの彼らへのメッセージは2つの部分から成ります：
  - a. 良い知らせ：神はあなたのために良い計画を持っています！(エレミヤ 29:11) - あなたは故郷に帰るでしょう。
  - b. しかし...ここに落ち着いてください。快適に過ごしてください。あなたが住みたくないこの街では、そうですね...街の平和と繁栄を求めてください。私たちはしばらくここにいるでしょう。だから家を建て、ブドウ園を作り、子供たちを結婚させましょう。
  - c. つまり、2つの部分は「勇気を出しなさい。神を信頼しなさい。神は良い計画を持っているから...しかし...それはあなたの望むタイムラインではないかもしれない」
- 4. もう一人の預言者がいます。彼はエレミヤとは全く異なるメッセージを説いています。
  - a. エレミヤ書 29:24
  - b. シェミヤ -
  - c. 彼は人々にエレミヤに耳を傾けないように言っています。エレミヤは彼らに亡命生活でしばらく落ち着くように言っています。
  - d. シェミヤは彼らの亡命生活は短いだらうと告げています。
  - e. ピーターソンの引用 -
 

1. 人々がいつでも故郷に帰れると思っている限り、バビロンで献身的で忠実な仕事に従事しても意味がなかった... 預言者たちは人々の自己憐憫を神経質な空想に操った。人々は宗教的な理由で怠け者であることを喜び、その日暮らして暮らし、社会に寄生し、人間関係に無責任で、実際の生活の現実に無関心だった。 - ユージン・ピーターソン
- 5. この捕囚の地には、預言者が二人います。一人はエレミヤで、神は良い計画を持っているが、私たちはしばらくここにいるだろうと言っています。もう一人は、この「家を建て、庭を植える」ことのせいで、エレミヤの言うことを聞かないようにと人々に言っています。
  - a. 彼は、捕囚の期間は短いと宣言する預言者です！
- 6. 一人は、捕囚から帰還するが、それはもう少しかかるだろうと言っています。
  - a. もう一人は、彼らはすぐに帰還するだろうと言っています。
- 7. これらの預言者の一人は、真実を、正直に、完全な真実を語っています(それはしばらくかかるかもしれない)。
  - a. もう一人は、人々が聞きたいことを語っています。つまり、半分の真実(捕囚から帰還するだろう)と嘘(彼らの予定通りになるだろう)を組み合わせています。
- 8. これが私たちに必要なことだと私は信じています。
  - a. 神を私たちの守護者として強く信じること
  - b. しかし、この現世(私たち自身のエデンからの追放)における苦しみと死について正直であること

## ストックデールストーリー

1. [ジム・コリンズ著『Good to Great』 - 広告ジム・ストックデールの物語]
2. 物語の原則(ストックデールのパラドックス)： **必ず乗り越えられるという信念を決して失わず、事実に対して正直でありましょう。**

# 私たちの信仰の原則

1. 複雑な危機、不安定さ、争い、危険に満ちたこの世界で、神の民である私たちは、神がすべてを正してくれるという確信を失うことはできませんが、今後の苦難についても現実的かつ正直でなければなりません。
  - a. イエスは弟子たちにこう言いました。「この世では苦難が待ち受けている。」
    - i. これは残酷なほど正直です。
    - ii. しかし彼はまた彼らに言います、
  - b. 「勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている。」(ヨハネ16:33)
2. 神こそが私たちの守護者であると信頼しながらも、私たちが直面する痛みや死がまだあると知っているということは、どういう意味でしょうか。
3. 聖書の中で私が共有したい箇所が2つあります。
  - a. 私の願いは、私たちの想像力がテキストによって形作られ、私たちがエデンの園から追放され、帰還を待ちながら善良で誠実な生活を送ることです。

## 1. シヤドラク、メシャク、アベデネゴ - ダニエル書 3章

1. 1つ目はダニエル書 3章にあります。
  - a. シヤデラク、メシャク、アベデネゴの有名な物語です。
  - b. これらの若者たちは、神だけを忠実に崇拝して死ぬか、信仰を捨てて帝国で安全と安心を得るかという選択に直面しました。
  - c. 彼らは、王の金の像を崇拝するという帝国の圧力に抵抗することを選びました。
  - d. そのため、彼らを火の炉に投げ込む準備が整いました。
  - e. しかし、彼らには王自身から最後のチャンスが与えられました。そして、死を直視しながら彼らはこう言いました。

f. 「シヤデラク、メシャク、アベデ・ネゴは答えました。「王よ。私たちの身にどんなことが起ころうと、ご心配には及びません。たとえ燃えさかる炉に投げ込まれても、私たちの神は、私たちを王の手から救い出すことができになります。たとえそうでなくても、ご承知ください。私たちはどんな状況に置かれても、決して王の神々に仕えたり、王の立てた金の像を拝んだりはいたしません。」

ダニエル書 3:16-18 JCB
2. 神への忠誠を自分たちの保護よりも選んだ彼らは、神が自分たちを救ってくれるという絶対的な信頼を抱いていた。
3. しかし、彼らはまた、単に命が救われることよりも高い視点を持っていた。4. したがって、彼らは神への忠誠を選んだ。なぜなら、神がその場で彼らを救おうとも、彼らが焼かれようとも、何があろうと、神の愛の中で彼らは安全だと知っていたからだ。
5. 彼らは、たとえ(驚くべきことに)それが自分たちの命の終わりを意味したとしても、最後まで神の善良さと保護を信頼していた。

## 2. 使徒パウロ - ピリピ人への手紙 1:21-26

1. 2番目の例として、ピリピ 1:21 をご覧ください。
2. [パウロと彼の理想的とは言えない状況を要約してください]

3. この箇所では、パウロの心の中に、対立する、ほとんど競合する欲望があることに気づきます。4. [箇所を読む]

a. 21 私にとって、生きることはキリストであり、死ぬことは利益です。22 もし私が肉体に生き続けるなら、それは私にとって実りある働きとなるでしょう。

i. パウロにとって、彼の現在の人生の目的は、教会のために働き続けることです。

b. しかし、私は何を選んだらよいのでしょうか？分かりません！23私は二つの間で引き裂かれています。

i. 彼が悩んでいる2つの選択肢とは何でしょうか？

c. 私は、この世を去ってキリストと共にいることを望んでいます。その方が、はるかに良いのです。24しかし、私が肉体にとどまっている方が、あなたたちにとってはもっと必要なのです。

5. 彼の文章からそれを感じることができます！

a. 彼が本当に望んでいたのは、自分の人生を終えてキリストの御前にいることであり、彼はそれがはるかに良いことだと断言しています！

b. しかし、彼は主がまだ彼になすべき仕事を用意しておられることを知っています。

6. したがって、彼は現在の状況から解放され、仕事を続けると確信しています。

7. それでも、彼のより深い願いは、最終的に主であり友人であるイエス様の御前にいることです。a. 主を自分の保護者、避難所、避難所として信頼し、彼は自分の人生が自分のものではないことを知っていました。

b. 彼はイエス様に属し、イエス様の僕であり、彼の人生は(ピリピ3:14で彼が言うように)キリスト・イエス様における神の上への召しという賞という目標に向かって突き進むことに集中していました。

8. 彼の安全と保護の源は主にありました

9. しかし、彼の見方は永遠の見方でした。つまり、彼が現世で救い主の苦しみを分かち合ったように、将来、救い主のように死から復活するという見方でした。

## 主なアイデア - このすべてからB4に聞いてほしいこと

1. 教会よ、皆さんに聞いてほしいことがあります：

a. 1. 神は私たちの守護者です

b. 2. 私たちはみな死ぬのです

i. 善良で愛情深い神が私たちの守護者であり得るのに、私たち全員がこの世で死に、苦しみに直面するというのは本当なのでしょうか。

2. 正直に言って、私はこう説教したいです。イエスに従えば、一生苦しみはないでしょう。経済的な問題や健康上の問題、問題に悩まされることはなく、あなたの夢はすべて叶い、義理の両親はいつも喜んでくれるでしょう。

a. この教会は、もしそれがメッセージだったら、もっと満ち溢れるでしょう。

i. [エレミヤとシェミヤのように - 神の保護をこの現世での苦しみゼロと同一視する人々には気をつけなさい...]

1. [半分の真実 - そしてあなたが聞きたいことを共有します]

3. 教会の皆さん、私たちは実はあなた方にもっと良いメッセージを持っています。

a. はい、あなたは死にます。

b. はい、人生には苦しみがつきものです。特にイエスに従う人生には苦しみがつきものです (イエスは私たちに自分自身を捨てて従うように呼びかけてお

られるからです)。

c. しかし、ここに良い知らせがあります。

i. 死と苦しみは物語の終わりではありません。

ii. イエスは死と苦しみに直面し、栄光へとよみがえられたからです。iii. 死は彼を押さえつけることはできなかった。

4. これが何を意味するかご存知ですか？

a. キリストにおいて死の力を打ち負かした神が私たちの守護者であるならば... b. 私たちの前に何が起ころうとも、死でさえも私たちを神の愛から引き離すことはできません。

c. 私たちは神の愛の中で安全です。

d. 主は私たちの宝です！

e. 私たちは主を得ます！人生で何が起ころうとも、私たちは主を得ます！

f. そして、もし私たちの希望が主にあるなら、私たちには確信を持つ十分な

理由があります！

## [田園的なひととき？]

### ローマ人への手紙第8章28～39節

1. そうです、神は私たちの守護者です。そしてこの人生において、神が特定の状況から私たちを特に守ってくれる時が確かにあります。

a. そして私たちは今ここで、保護を祈るべきです。

b. しかし、私が皆さんに知ってもらいたいのは...

i. シヤドラク、メシャク、アベデネゴが神が炉から自分たちを救ってくれることを知っていたのと同じように、何が起ころうとも神を信頼していました...

ii. ですから、私たちは神が現在の危険から私たちを守ってくれると信じることができます。しかし、状況が私たちの望むように進まなくても、私たちは神の愛の中で安全です。

c. 神は私たちを死と闇の力から守ってくれます。そのため、キリストに信頼を置く私たちにとって、死は最終的な決定権を持っていません。2. 使徒パウロに戻りますが、これ以外の私の言うことをすべて忘れたとしても、それはローマ人への手紙 8:28-39 のパウロの言葉です。

3. [文章を読む]

a.<sup>28</sup> “私たちは、神を愛し神のご計画のうちに歩んでいる人のためには、その身に起こることはすべて、神が益とくださることを知っているのです。”

ローマ人への手紙 8:28 JCB

i. これは、キリストの苦しみを分かち合うことについての長い議論の後です

ii. 35節まで読み進めてください

<sup>35</sup> “では、いったいだれが、私たちをキリストの愛から引き離すことができるのでしょうか。災難や苦しみ、迫害ですか。飢えや貧乏、あるいは危険や剣ですか。聖書にこう書いてあるとおりです。「神のためには、いつでも 死ねる心がまえでいなければなら

ない。私たちは殺されるのを待つ羊のようだ。」(詩篇44・22) しかし、こうした中にあっても私たちは、いのちを投げ出してまで私たちを愛してくださったキリストによって、圧倒的な罪からの勝利を得るのです。神の愛から私たちを引き離すことができるものは何一つない、と確信しています。死もいのちも、そんなことはできません。天使にもできません。地獄の全勢力が結集しても、神の愛から私たちを遠ざけることはできません。恐れも、不安も同様です。あるいは、私たちが空高くのぼっても、海の底深くもぐっても、どこにしようと、神の愛から私たちを引き離すことはできません。」  
ローマ人への手紙 8:35-39 JCB

## [パーソナルに]

1. 告白: 不安を感じるのにそれほど時間はかかりません (イギリスへの逃避の話) 2. [教会としての私たちにとってこれが意味すること]
- a. 信頼する人々になりましょう

## 最終話(ペルペチュアとフェリシティ)

1. 初期の教会は迫害にもかかわらず、飛躍的に成長しました。
2. 彼らは神を守護者として信頼していましたが、十字架に耐えた救世主に目を向けていました。
3. これらの殉教者のうちの2人はペルペチュアとフェリシティでした。2人の北アフリカの女性です。
  - a. ローマ皇帝セウエルスの統治下で、彼女たちはイエスへの信仰のために逮捕されました。
  - b. ペルペチュアは当時の女性としては高い地位にあり、読み書きができました(珍しいことでした)。そしてフェリシティは彼女の召使いでした。
  - c. 2人ともローマの闘技場で亡くなり、観客がその運命を目撃しました。
    - i. しかし、物語が語られると、群衆は驚くべきことに、命を恐れるのではなく、この世から次の世へと移って救世主と直接会うことを切望する2人の女性を目撃しました。

## 福音 - 亡命から真の故郷に戻り、神の御前で安全に暮らす

1. 教会の皆さん、危険に満ちた世界の真っ只中にいる今、皆さんに良い知らせがあります。
2. 安全を求める私たちの心の切望は、究極的には神の御前にあります。
3. そして、これは今ここで体験することができます。
4. そして、私たちが神の御前にいる安全な真の故郷に戻ったときに、それは完全に体験されるでしょう。
  - a. そして、追放されていた神の民が最終的にエルサレムに戻ったように。
  - b. ですから、エデンから追放されている私たちも、私たちの真の故郷、新しいエルサレム、新しい創造、天と地の結合から戻ります。そこには武器も壁も必要ありません。なぜなら、私たちは神の愛と御前にいるからです。
  - c. 神の御前からの追放の終わりは、イエスのおかげで可能になりました。イエスの生涯、イエスの死、そして私たちの復活の前触れとしての復活です。
5. しかし、その間、私たち自身が追放され、本当の故郷への帰還を待っている間、私たちは神の愛の中で安全であるため、神の良い計画を信頼しています。
  - a. そして、何物も、死さえも、私たちを神の愛から引き離すことはできません。

# 祈り

## 祝禱

恐怖に浸る世界の真っ只中であって、神の前にいる時間から得られる平和をあなたが示せますように。

あなたが、神の中に、安全、避難所、保護の源を見いだせますように。

人生で何が起ころうとも、神との友情を最高の宝物と見いだせますように。

そして、あなたが、神の愛の中で安全であり、死でさえも、あなたを引き離すことはできないということを、あなたの存在の核心にまで知ることができますように。